

- 問1 しゅう集車が家庭から集めたごみを、最終的に清掃工場へ運ぶのはなぜですか。
- 問2 なぜ発電所でつくられた電気を、そのまま家庭に送らずに、一度「変電所」を通す必要があるのでしょうか。
- 問3 日本で水力発電が昔からさかんに利用されてきた理由は、どのような自然環境があるからですか。
- 問4 リユースを進めることで、どのような良い効果がありますか。
- 問5 清掃工場でごみを燃やしたあとに残る「灰」は、最終的にどうなりますか。
- 問6 発電所でつくられた電気を、家庭や工場に届けるために電圧（電気の勢い）を下げる役割をしている場所はどこでしょう。
- 問7 清掃工場でごみを燃やす、一番の目的は何でしょうか。
- 問8 家庭から出されたごみや資源を回収して、清掃工場まで運ぶために使われる特別な車を何といいますか。
- 問9 清掃工場で、ごみを燃やしたときに出る熱は、どのように利用されていますか。
- 問10 清掃工場でごみを燃やすとき、空気中に有害な物質が広がらないようにするために、どのような工夫をしていますか。
- 問11 ごみとして捨てるときに、商品や容器包装についている「リサイクルマーク」を確認することには、どのような理由がありますか。
- 問12 使わなくなった服を、ごみとして捨てるのではなく、必要としている人に譲るような、形を変えずに繰り返し使う取り組みのことを何と言いますか。
- 問13 日本でいろいろな種類の発電方法が使い分けられているのは、なぜですか。
- 問14 家庭で「ふろの残り湯」を洗濯に使うのは、なぜ水資源を守るために良いことなのでしょう。
- 問15 川から取り入れたばかりの水は、そのままでは飲めません。安全に飲めるようにするために、水をきれいに処理する施設のことを何と言いますか。
- 問16 料理をする時の火や、お風呂のお湯をわかす時の熱など、生活に必要なエネルギーをすべて「電気」だけでまかなう住宅のことを何と言いますか。
- 問17 使い終わったものを、一度分解したり溶かしたりして「原料」に戻してから、新しい製品に作りかえることを何と言いますか。
- 問18 工場で機械を冷やすために使った水を、繰り返し使う取り組みには、どのような目的がありますか。
- 問19 私たちがごみを減らすために、まず「リデュース（ごみそのものを減らす）」を意識することが大切なのはなぜですか。